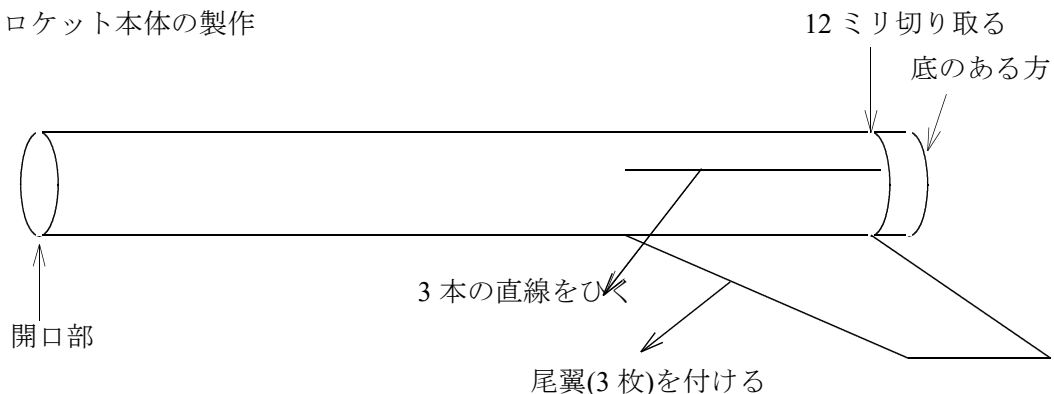


特注の白無地のマーブルチョコの箱(長さ 25 センチ)を使用する。

【A】 ロケット本体の製作



下記の手順のうち、①～③はリーダーが加工済みなので、④から行う。

- ①底の 12 ミリを切断する
- ②等間隔に 3 本の線 (長さ 6 センチ)を引く
- ③尾翼を木工用速乾ボンドで接着する

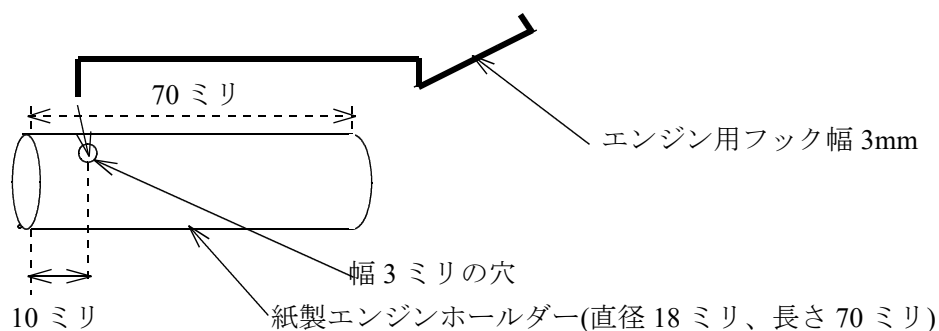
尾翼の接着面(赤いマーク)にボンドを塗り、紙筒側面に垂直に押しつけ、数秒くらい押しつけたままにする。2 時間くらいすると動かなくなる。

-----以上までは加工済み-----

- ④上部内面にパラシュート用のフック(台形の紙に木綿糸を付けたもの) 木工用ボンドで木綿紐が覗くような位置に付ける

本体用紙筒 (直径 24 ミリ、長さ 250 ミリ、底付き)
 尾翼 (3 ミリ厚さのバルサ材、1 セット 3 枚に揃えて切断済み)
 パラシュート用フック (台形の紙に木綿糸を付けたもの)

【B】 エンジンマウントを作る



- ①エンジンホルダーの上端から 10 ミリのところにナイフで切り込みを入れてエンジンフックを図のように差し込む
- ②エンジンホルダーの下端からエンジンフックの上をアルミテープ(幅 5 センチ長さ

10センチ)で巻く

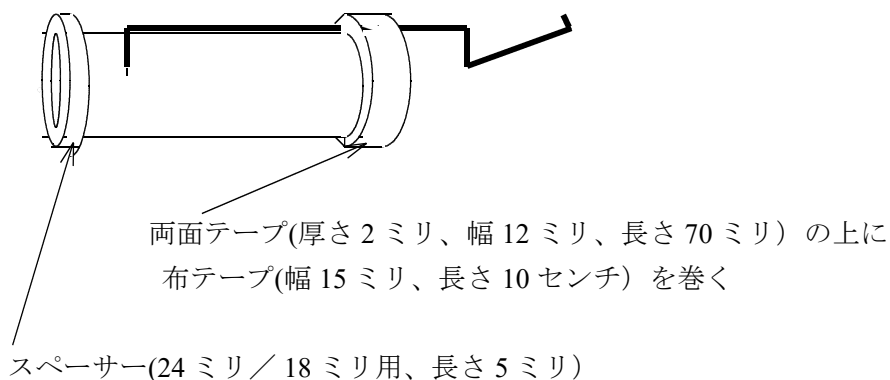
エンジンフック

エンジンホルダー (紙製、直径 18 ミリ、長さ 70 ミリ)

アルミテープ (幅 5 センチ、長さ 10 センチ)

【C】 エンジンマウントを取り付ける

- ①エンジンホルダーの上端に 24 ミリ / 18 ミリ用スペーサーを木工用ボンドで接着する。
- ②エンジンホルダーの下端にエンジンフックを避けて厚さ 2 ミリの両面テープ(幅 12 ミリ長さ 70 ミリ)を巻き、その上から布テープ(幅 15 ミリ、長さ 10 センチ) を巻く。
- ③出来上がったエンジンマウントを紙筒の下部に下方からに入れ、木工用速乾ボンドで接着する。このとき、ボンドは筒の内面の下から 6 センチくらいのところとエンジンマウントの下端外側の 2 カ所に付ける。内面ののり付けには割り箸などを使う。



スペーサー (24 / 18 ミリ用、長さ 5 ミリ)

両面テープ (厚さ 2 ミリ、幅 12 ミリ、長さ 70 ミリ)

布テープ・白 (幅 15 ミリ、長さ 10 センチ)

割り箸

【D】 ランチラグ (ガイドパイプ) を取り付ける

尾翼と尾翼の間で尾翼の上端から上にランチラグ(長さ 2.5 センチくらい)を木工用ボンドで接着する。

ランチラグ (内径 4 ミリ、長さ 25 ミリ)

【E】 パラシュートの作り方。

1 辺 11 センチの 6 角形のパラシュート (アルミ蒸着ポリエステルフィルム) の 6 カ所のコーナー両面にとじ穴補強用シールを貼り、中にピンで穴を開ける。この穴に 50 センチくらいの糸を通して結び、6 本をまとめておく。

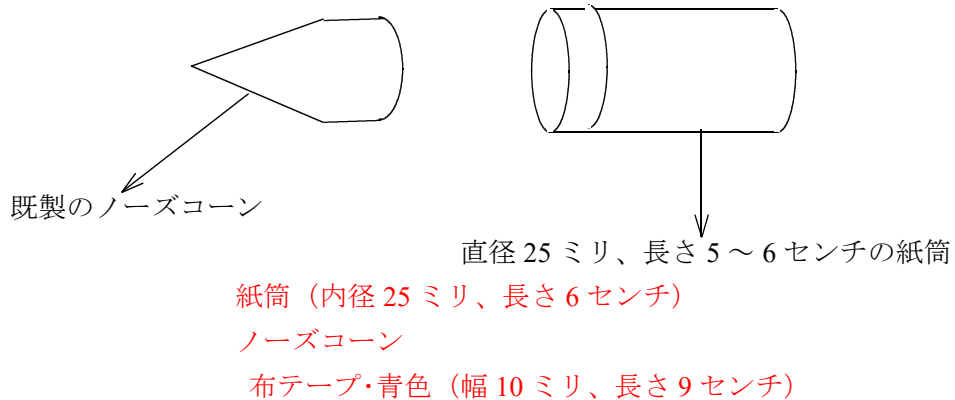
パラシュート

とじ穴補強用シール 12 個

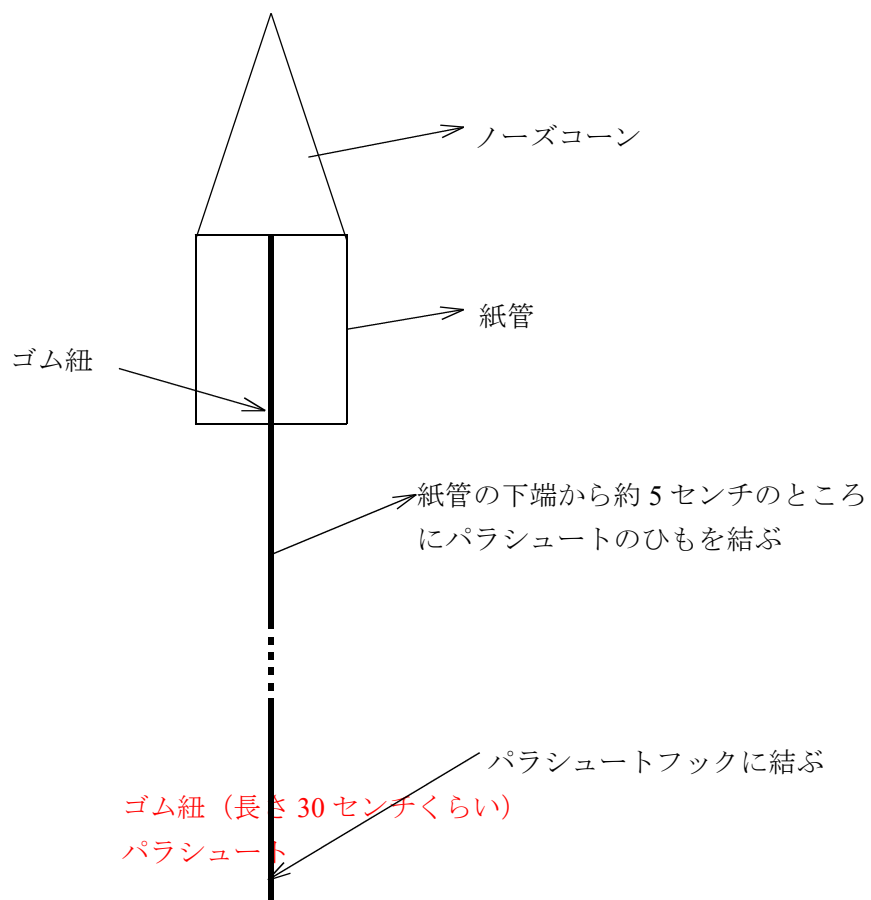
木綿糸 (50 センチ、6 本)

【F】 ノーズコーンとパラシュート引き出し用の蓋を作る。

既製のノーズコーン長さ 6 センチの紙筒にはめてパラシュートき出し用の蓋を作る。
布テープを巻く



- ① 本体の紙管から紙筒が抜けやすいように本体の紙管のまわりをサンドペーパーで少し削って軽く抜けるようにする。
- ② 既製のノーズコーンを紙筒に取り付け、ビニールテープで止める。
- ③ パラシュートの 6 本の糸をまとめてゴム紐の上から 5 センチくらいのところに結びつける。
- ④ ゴム紐の下の端を本体の筒に付けたフックに結ぶ。



以上